

那覇市保健所

始動!

祝 中核市

那覇市は4月1日に一般市から中核市へ移行し、まちづくりの新たなステージへ一歩を踏み出しました。

県から多くの事務権限が移譲され、今後はもっと身近なところで、地域の現状に合わせたサービスの提供ができるようになります。

中でも保健所の設置は、市民のみなさまにとって「中核市」をより身近に感じていただけるものではないでしょうか。

今後も、風格ある県都なはを目指し、より那覇市らしいまちづくりと、充実した市民サービスに向けて取り組んでいきます。

「頼れる保健所、フットワークの良い保健活動」をめざして

中核市移行に伴い、県からこれまでの中央保健所の建物を譲り受け、装いも新たに「那覇市保健所」として整備しました。

これまで県保健所が行ってきた公衆衛生業務と、市の行っている地域保健が一体となることで、幅広くきめ細やかなサービス提供が可能になります。今年度は、那覇市保健所としての第一歩を踏み出す年となりますが、みなさまの身近な視点から、より良い保健衛生環境を考え、「頼れる保健所、フットワークの良い保健活動」を展開していきます。

簡単手続き♪

これまで保健所で行っていた医療費助成、育成医療などの手続きでは、住民票や所得証明書などの提出が必要であり、市役所と保健所の両方に行かなければならませんでした。

今後は、みなさまの住民情報を管理している市と一元化するため、これらの証明書類の提出が不要となります。

また、精神保健業務においても、市の障がい福祉課や健康推進課、県の保健所とこれまで窓口が分散していたのを、今後は那覇市保健所の相談窓口一本化されます。

中核市ではじめの一歩

イベントで若者の健康診断！その場で結果、保健指導まで☆

長寿第1位から転落し、今や若者の生活習慣病も深刻となっている現代の沖縄県で、若いうちからの生活習慣の改善はとても重要なものになっています。

これまで、市独自では継続実施できなかった若者の健診が、市保健所の設置により可能となりました。健診は、メタボや糖尿病予防のための簡易な健診(血糖、脂質、肝機能検査)ですが、保健所の医師、保健師、栄養士、検査技師といった人材を活用して無料で実施する予定です。保健所内で6月頃から週1回実施するほか、市内のイベントなどに出向いて行うことも可能です。

検査から保健指導までその日で行うことができるので、忙しい方でも利用しやすい内容となっています。

生活習慣病予防への大切な一歩となる健診を、より多くの市民に受診してもらえるよう取り組んでいきます。

健康都市をめざして

保健事業の展開のほか、環境基本計画や都市計画、防災計画など、市が策定する様々な計画の中にも保健衛生の視点を盛り込み、健康都市を目指していきます。

お問い合わせ 健康増進課 ☎853-7961

那覇市保健所職員のみなさん

Q活動内容はどのようなのですか？

「ごみを拾うことはもちろん、花壇の手入れ、草取り、設備点検などを、自治会や地域住民のみなさんと一緒に取り組んでいます。」

かつては清掃が行き届かず、荒地地同然でしたが、活動が定着して公園が少しずつきれいになると、ウォーキングを楽しむ方々や、飼育されているやぎを見にくる親子連れなど、子どもからお年寄りまで楽しめる地域の憩いの場となりました。

また、地域の保育園の子どもたちと一緒に、体験学習を目的に、大石公園の畑でひまわりやとうもろこしの種を植えたり、ジャガイモの収穫をしたりしています。

子どもたちと花の苗を植えました

自分たちの足元から

Q今後の活動計画はありますか？

大石公園入口近くには、識名1丁目自治会のみなさんと一緒に栽培したテッポウユリが咲いており、見ごろの4月13日に、ユリ祭りを開催します。これから大石公園が地域に親しまれ、憩いの場となるよう活動を続けてまいります。

協働さん

いらっしやい!!

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第25回 沖縄ごみバスターズボランティア

お問い合わせ まちづくり協働推進課 ☎861-3846